

くまそう

vol. 29 26.
01.

winter season

Kumagaya
General
Hospital
News Letter



CONTENTS

新年のご挨拶

中村理事長 北 病院長

総合健診センター紹介

委員会紹介 手術室運営委員会

リハ科 ワンポイント講座

栄養科 栄養強調表示について

入職医師紹介

くまそうTOPICS

2040年、地元地域の生活と熊谷総合病院の役割



理事長 中村 信一

皆様、新年、明けましておめでとうございます。この小誌読者の皆様におかれましては、新しい希望と決意に満ちた新春をお迎えのこととお察し申し上げます。

さて、タイトルの2040年、「これは誤植だ！」と大勢の方が驚かれたと思いますが、決して誤植ではありません。私、所謂「2040年問題」の事が気になって仕様がなかったので、敢えて2040年といたしました、ご了解ねがいます。実はすでに10年余り前から国を挙げて「2040年問題」解決に向けての試みが様々なされてきたのですが、どうやらその対策が（10年余り経った今でも）充分とは言えない有様なのです。何しろ、少子高齢化の人口減少が進み生活支援を必要とする人の人口が増える一方で、その「地域を支える人手」が確実に足らなくなるのです。65歳以上の高齢者が50%以上を占める「限界自治体」では、まず公共交通の存続が困難になり移動手段が限定され住民のアクセスビリティが低下、次いで行政サービス、地元の商業施設や医療・介護提供体制の縮小が強まると言われております。このような社会環境では一般住民の皆さんのみならず、自立・自活が困難な方々の生活は一層困難なものになってしまいます。そして、そんな場所では誰も暮らしたいとは思わなくなってしまうでしょう。これまで私たちは①予防医療（健康増進、疾病の早期発見）・②急性期医療・③回復リハビリ医療（早期の退院と社会復帰）の3本の柱と④在宅医療支援（退院後の訪問看護、訪問リハビリ）の切れ目のない医療サービスの提供を通じて地域社会に貢献して参りました。これからも変わらず熊谷総合病院の使命を果たしてゆくためにはどうしたら良いのでしょうか？熊谷を消滅都市としてはいけません。私は次の5項目が要と考えました。①自院以外の医療・介護・福祉そして行政機関との強い連携と役割分担とに加え、②病院・診療所も地域事業所の一つであるとの認識を持ち、③地元の商工会、商工会議所とともに連携、④「2040年問題」解決と熊谷の「限界自治体」化阻止に向け多くの職種から知見を集め、⑤その知恵と「組織の行動力」を持って、みんな「ごちゃまぜ」一緒くたになって本音で語り合いお互いに助け合う。そして、安心して質の高い魅力のある「熊谷の暮らし」を守る。これで、いかがでしょうか？

これからも私たちは病院理念に掲げた「わたくしたちは地域のあらゆる機関と協力して世界に誇れる病診連携をこの地、熊谷に築き上げます。」ので、引き続き地元皆様のご指導ご協力をお願い申し上げます。結びに今年も皆様にとって充実した良い年で有りますよう、心よりお祈り申し上げ新年のご挨拶といたします。

2026年 新年のご挨拶



病院長 北 順二

新年あけましておめでとうございます。2026年の年頭所感を述べさせていただきます。当院は1945年に熊谷駅北口に45床で開設され、1972年に現在の熊谷市中西に移転しました。昨年で開設80周年となった当院は、病院の建物が刷新され、急性期240床、HCU10床、SCU3床、回復期リハビリ57床の計310床の埼玉県北部の中核をなす急性期病院として歩んできました。地域住民の皆様、また医師会を始めとした地域の診療所や病院の先生方に愛情あるご支援をいただいていることに深く感謝申し上げます。一方で、当院職員一同は、地域の皆様の期待に応えるべく弛まない努力を続け、病床稼働率や救急患者搬送数の上昇、手術件数の増加等によって病院として安定した組織基盤を築くことができるようになりました。また、当院は、患者さんにとって身近な存在である「かかりつけ医」を支援し、専門的な治療や診断が必要とされた紹介患者さんの診療を重点的に行うことを目的に、2022年に地域医療支援病院の認定を受け、紹介および逆紹介による機能分化を推進しています。さらに急性期病院の使命として、日中夜間を問わずに救急患者さんの受け入れや緊急症例に対応しています。実績としては、2025年の外来受診のべ患者数は157,040名、救急医療では救急車搬送台数は4,432台、救急外来独歩受診者は2,477名であり、入院においても高い稼働率を維持しています。また、手術室における2025年の手術症例件数は2,964件（全身麻酔症例数は1,989例）であり、過去最多となっています。これらのことは、病院職員への負担が増加していることに直結しており、より良い病院になるよう努力をしているものの、地域の皆様には待ち時間や接遇について行き届かない面があることを承知しております。この点につきましては、地域住民の皆様との相互理解の上、当院職員に対してのご高配をいただきますよう切にお願い申し上げます。

患者さんは不安や痛みを抱えながら病院を受診し、そこには病院に対する期待が存在します。残念ながら医療は全能の神ではなく、期待に応えられないこともあります。しかしながら、病院は、患者さんやご家族の多様な要望に対して迅速かつ適切に応える責務があり、良質かつ効率的な医療を提供する使命があります。医療の質を担保するためには、全職員は常に勉学を含めた修身を怠らず、安全安心な医療を提供する必要があります。そのためには、職員間の対話、また患者さんとの対話によって相互理解を得ることが重要となります。当院は、「対話」の文化を根付かせることを推進していきます。社会医療法人である熊谷総合病院は、熊谷を中心とした埼玉県北部の基幹病院としての役割を果たし、患者さん、地域社会および職員への貢献を掲げて成長していく所存です。これからもご指導を賜りますよう心からお願い申し上げます。

総合健診センターの紹介



平素は大変お世話になっております。

本日は当院の総合健診センターをご紹介します。当院では、施設健診と巡回健診をおこなっており、両者を合わせて年間に約20,000人を超える方々にご利用頂いております。

施設健診では人間ドックをはじめ、脳ドック、すい臓がんドック、胃がん・大腸がん内視鏡ドック、PET-CTを利用したがんドックなどに加え、協会けんぽの保険証を有する方々を対象とした生活習慣病予防健診、法定健診、雇用時健診と豊富なコースを用意して受診者の方々の健康を見守っております。



巡回健診では埼玉県南西部から北部まで訪問させて頂き、各種健診を行っております。今秋より、巡回健診バスを刷新し、より多くの方々にご利用できることを願っております。



さて、多くの方々にご存じの事と思いますが、改めてご紹介いたします。

埼玉県北部の自治体は国民健康保険あるいは後期高齢者医療制度をご利用の方々に対する人間ドック・脳ドックの補助事業が大変充実しています。例を挙げると、熊谷市では、健康管理と疾病予防を目的に人間ドック・脳ドックを受診したときの検査料を助成されており、1年度どちらか1回 30,000円(30,000円に満たないときはその額まで)の費用を補助しています。

当院でも多くの方々にこのような制度をご利用頂いております。

但し、下記の点にご留意ください。

- ・ 受検後の申請は認められませんので、必ず受検前に申請してください。
- ・ 市の助成を受けて人間ドックを受検した人は、特定健康診査・長寿健診は受けられませんのでご了承ください。

となっております。

各自治体から発信されている情報をご理解のうえ、ご利用を検討願います。



健診には繁忙期と閑散期があり、例年、1月～6月は受診される方が減る傾向にあるため、この時期であれば比較的希望の日時で予約も取りやすいと思います。

是非、1回/年健診を受けるご予約の方は、年間のスケジュールに組み込んでみては如何でしょうか？例年6月からは、ご当地熊谷市のがん検診も行っており、特定健診(長寿健診)とあわせて多くの方々にご利用頂いておりますが、近年、ご利用される方が増加しており、ご希望に沿えない事も多く、大変申し訳なく思っております。限られた医療資源のもとで事業を行っておりますので、ご理解ください。

人生100年時代と言われるようになり、人々の健康への関心も益々高まっています。

また、医療技術の進展に伴い、病気の早期発見・早期治療を行うことにより、健康寿命の延長も期待できることから、健診への期待が高まることはひしひしと感じております。

我々も時代の流れを汲み取り、地域住民の方々がご満足いただけるようなコースの開発も進めて参ります。そして皆様方の健康をお守りする一翼を担い、皆様方から応援頂けるような施設を目指したいと存じます。

最後に、職員一同、皆様方の健やかな日々が続きますことを心より願っております。

お問い合わせ・ご予約

総合健診センター

月～金曜 13:00～17:00 ※ 土日祝、年末年始を除く

TEL : 048-521-7141

FAX : 048-521-9271



手術室運営委員会

手術室運営委員会委員長 手術室 看護科長 村社 真紀

当院は総合病院として、地域の皆さまに幅広い医療を提供しています。

委員会の役割

「手術室」

患者さんの命を守るために欠かせない重要な場所です。

日々多くの手術が行われており、医師や看護師だけでなく、臨床工学技士や薬剤師など、さまざまな専門職が力を合わせて支えています。手術を安全に、そして手術室を効率よく運営するために設けられているのが手術室運営委員会です。



9.13 外科手技体験時撮影（学生対象）

委員会の役割

第一は「安全の確保」

手術は患者さんにとって大きな出来事であり、感染予防や機器の点検など、細心の注意が必要です。委員会では定期的に安全対策を見直し、安心して手術を受けていただける環境づくりを進めています。



委員会の役割

第二は「円滑な運営」

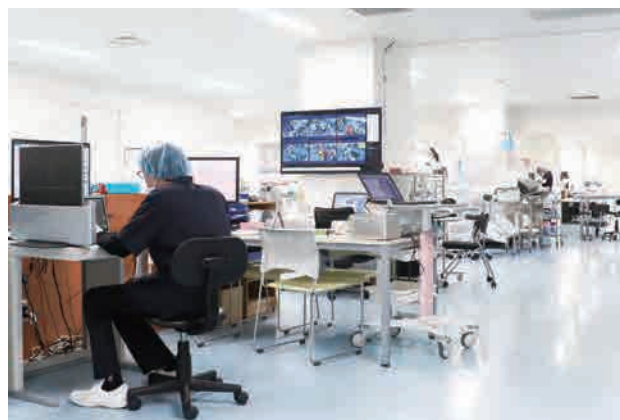
手術室は限られた人材で最大限の運用ができるよう、スケジュール調整や人員配置を工夫しています。また、緊急手術にも迅速に対応できるよう体制を整えています。



委員会では、毎月

「手術件数」「手術室の稼働率」「時間外手術の件数や所要時間」「時間外手術となった理由」などの指標を共有しています

これらは一見すると病院内部の数字に過ぎないように思われるかもしれませんが、こうしたデータを多職種で確認し合うことで、手術室の利用状況を客観的に把握し、改善点を見つけることができます。例えば、時間外手術が多い場合には、日中のスケジュール調整や人員配置を見直すきっかけになりますし、稼働率の変化からは設備や人材の充実度を測ることができます。委員会はこれらの情報を基に、より効率的で安全な手術体制を築いているのです。



委員会は職員同士の連携を深める場としても重要です

手術室では多職種が同時に関わるため、情報共有や意思疎通が欠かせません。委員会では定期的に会議を開き、課題や改善点を話し合うことで、チーム全体の力を高めています。さらに、患者さんやご家族に安心していただけるよう、説明体制やサポート体制の充実にも力を入れています。



手術室運営委員会の活動

患者さんの目に直接触れることは少ないかもしれませんが、その努力があるからこそ、毎日の手術が安全に、そして円滑に行われています。私たちは「患者さん第一」の思いを胸に、これからも手術室の環境をより良く整え、地域の皆さまに信頼される医療を提供し続けてまいります。



手術室運営会議の様子

自分と家族の将来への投資になる？ ご当地の元気体操のご紹介



リハビリテーション科係長
脳卒中認定理学療法士

高野 利彦

1. いきいき百歳体操とは？

いきいき百歳体操は、米国国立老化医学研究所が推奨する運動プログラムを参考に、平成14年に高知市が開発した重りを使った筋力運動の体操です。

いきいき百歳体操は、イスに腰をかけ、準備体操、筋力運動、整理体操の3つの運動を行います。開始当初、市内2箇所だったいきいき百歳体操会場は360箇所を越え、全国43都道府県500以上の市町村1万4000箇所（令和3年6月時点）を越える体操会場で、いきいき百歳体操が行われています。

3. 熊谷市で実施されている “ニャオざね元気体操”への参加方法とは？

私自身は平成28年より熊谷市長寿いきがい課と連携し、体操の立ち上げやフォローアップを行ってきました。現在熊谷市では50か所以上の公民館等にて元気体操が実施されています。

今お住いの地域での活動に参加し、

「顔の見える関係づくりと元気なからだづくり」を目標に活動を行ってもらうことが将来の自分やご家族への投資になります。

ニャオざね元気体操に関心のある方は、長寿いきがい課、もしくは担当の地域包括支援センターまでお問い合わせください。

お問い合わせ
長寿いきがい課

048-524-1111（内線217）

2. なぜ体操が必要なのか？

日本では2040年に向けて、高齢者人口の急増により、介護・医療・支援の担い手不足が深刻化すると予想されています。こうした状況に対応していくためには、一人ひとりが「できる限り健康で、自立した生活を長く続けること」がこれまで以上に重要になります。

体操や軽い運動を日頃から習慣にしておくことで、筋力やバランス能力を維持し、転倒予防や生活機能の低下防止につながります。

4. 熊谷市以外のお住まいの方はどうしたらよい？

埼玉県内の多くの自治体で同様の体操が行われていますので、お住いの市町村の窓口にお問い合わせください。

5. 体操の内容のご紹介

詳しくはyoutubeにて

「くまがやくらしの情報局平成30年5月後半号」、URL「<https://www.youtube.com/watch?v=q4ft9JlnUj0>」を検索してください。



©熊谷市



©熊谷市

栄養強調表示

正しくみられていますか？

買い物のときに、
"低カロリー"
"カロリーゼロ"
などの食品を手にとる
ことはありますか？
これらを「栄養強調表示」といい、
特定の栄養素が「多い」「少ない」など
国が定めた基準を満たした
食品にのみ表示されています。



管理栄養士 金澤 弘子

栄養科

食品100g(飲料100ml)あたりの
熱量(エネルギー)の場合、
5kcal(5kcal)未満であれば
"ノンカロリー""カロリーゼロ"と
表示され、40kcal(20kcal)で
あれば"低カロリー""カロリー控えめ"
と表示されます。
カロリーゼロだから
0kcalとは限りません。

★ 栄養成分表示を活用しましょう！

強調している栄養成分の含有量は、食品のパッケージにある
栄養成分表示をみるとわかります。

栄養成分表示 100mlあたり	
エネルギー	17 kcal
たんぱく質	0 g
脂質	0 g
炭水化物	6.5 g
食塩相当量	0.1 g

低カロリーのジュース(1本500ml)

栄養成分表示をみるときは、
単位を必ずチェックしましょう。

1本(500ml)飲むと…
100mlの5倍だから、実際のエネルギーは
 $17\text{kcal} \times 5 = 85\text{kcal}$

こちらの低カロリーのジュース(1本500ml)は…
1本あたりの熱量(エネルギー)が、100kcal未満のため、
"低カロリー"と表示されていますね。

低カロリーだから…と選んでいても知らず知らずのうちに
かなりのエネルギーをとってしまう可能性もあります。
栄養強調表示のあるものでも適切な量の摂取が大切です。

- 低カロリー飲料
- 内容量: 500ml

参考文献: 消費者庁: 栄養成分表示について



消費者向けパンフレット





入職医師紹介



- ちよう こんじょ
○氏名 趙 健助
○専門 呼吸器内科
○出身大学 弘前大学
○趣味 野球・サッカー観戦
○自己紹介・あいさつ

埼玉医科大学呼吸器内科から半年間貴院でお世話になります。
精一杯頑張ります。よろしくお願いします。



10/23 熊谷総合病院 総合健診センター 巡回検診用バスが新しくなりました

新しい健診バスの納車式を行いました。地域のみなさまの健康を守るため、新たな仲間が加わりました。今後も各地域での健診を通して“予防医療の推進”に努めてまいります。



謹賀
新年

10/24 令和7年度 国民保護実働訓練 深谷ビッグタートル（深谷市総合体育館）

埼玉県及び深谷市共催で大規模テロ事案を想定した訓練に当院DMATチームも参加してまいりました。深谷ビッグタートルにて化学剤サリンが散布されたという想定で、自衛隊、消防署、警察署等と協力し観客の避難や救護、除染やトリアージ等の訓練を行いました。



新春

10/27 衛星電話受送電訓練

災害時に確実に使用できるよう定期的に受送電訓練を行っています。常に地域のみならず、近隣医療機関と連携を取り努めます。



10/31 第2回 ティアラ21 4F会議室 くまがや在宅褥瘡ケアネットワーク

創傷ケアに携わる医療従事者のネットワーク構築目的で年に3回開催しております。今回はスキン-テア(皮膚裂傷)の管理について行いました。講演者：当院、皮膚・排泄ケア認定看護師 小笠原 雅巳



11/1 令和7年 刀水橋花火大会 救護所

今回も救護所の提供を引き受けました。無事に事無く終わりを向かえることが出来ました。空気の澄む秋の花火も素敵でした。



11/6 第1回 教育委員会TQM委員会 熊谷総合病院 院内学会

職員が日頃の研究・取り組み成果を発表し交流を深めました。今後も発表の場を通じて医療の質向上と人材育成に努めていきます。



11/15 第3回 災害講習会

熊谷消防本部協力のもと、全職種を対象にトリアージ訓練を行いました。本年度は熊谷外科病院と埼玉慈恵病院にも参加いただきました。



11/27 拓殖大学 海外事業研究所 × 熊総 救急DMAT・小児科・研修医 ガザ地区紛争地域における医療体制

拓殖大学・野村ゼミの学生と、当院小児科スタッフおよび初期研修医が、ガザ紛争における子どもたちの安全保障をテーマに、医療支援や公衆衛生活動について議論を行いました。



くまそう 院内マップ 1F～3F

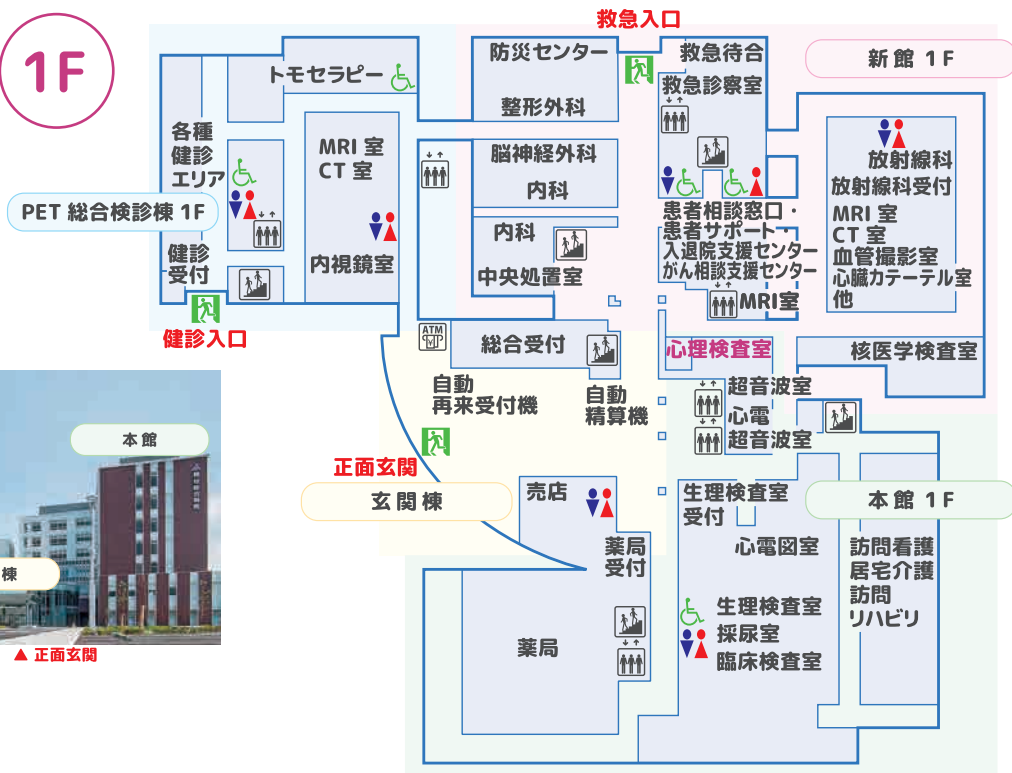


くまそう QI(クリニカルインディケーター)

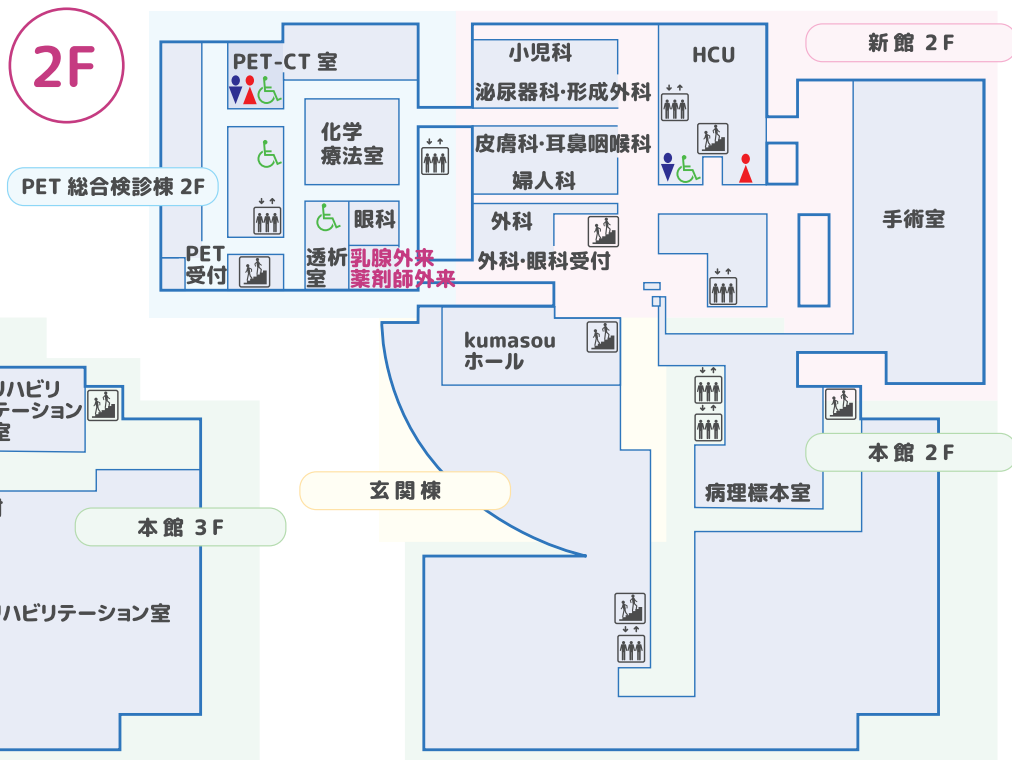
紹介初診数	692
紹介率	64%
逆紹介率	94%
救急搬送件数	431
うち小児科	40
平均在院日数	12.1
手術件数(手術室)	295

2025年12月

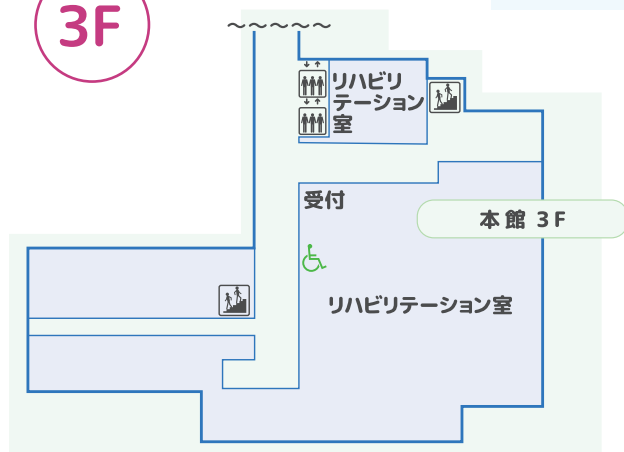
1F



2F



3F



病院理念

- わたくしたちは、この地に歴史をきざむ熊谷総合病院に勤める医療人です。
わたくしたちは、この地にふさわしい専門的視野と未来への展望に立って、ここに新生熊谷総合病院の病院理念を制定いたします。
- 一. わたくしたちは地域の一員として、すべての患者さんを心あたたかく迎え入れます。
 - 一. わたくしたちは地域の医療を常に高く保つため、みずから進んで学習します。
 - 一. わたくしたちは地域の未来をになう若き医療人の育成に励みます。
 - 一. わたくしたちは地域の必要に応える最新医療を提供し続けます。
- そしてわたくしたちは地域のあらゆる機関と協力して世界に誇れる病診連携をこの地、熊谷に築きあげます。



日本医療機能評価機構
認定第JC2211号
機能種別版評価項目
(3rdG:Ver2.0 一般病院 2)

社会医療法人
熊谷総合病院
〒360-8567 埼玉県 熊谷市 中西 4-5-1

TEL : 0570-099-080 (ナビダイヤル)
FAX : 048-523-5928 (代)
<https://www.kumasou.or.jp/>



くまそうHP



LINE友、インスタ友 募集中!!

